



知床科学委員会 しんぶん

エゾシカ・ヒグマ

ワーキンググループ NO.18



2019年6月26～27日にエゾシカ・ヒグマワーキンググループ会議が羅臼町で開催されました。今回は2018年度のエゾシカ・ヒグマ関係の報告の他、2019年度の実行計画について議論されました。また、26日には委員や行政関係者がエゾシカの捕獲のためのわなや昨年ヒグマによる被害が発生した現場を見て回り、地域が抱えているエゾシカやヒグマと関連する問題点を確認しました。

現地視察を行いました！



会議に先駆けて、委員の方たちと羅臼側の現地視察を行いました。相泊から市街地にかけての道路沿いで、エゾシカ捕獲事業の現場や、過去にヒグマとのトラブルが発生した場所で、対応にあたった知床財団職員から説明を受けました。

昨年、羅臼町では住宅地近くにヒグマが出没す



昨年、羅臼町の海岸に出没したヒグマ

るケースが多く発生し、飼い犬がヒグマに襲われる危険な事例も発生しました。町はヒグマによる被害防止のため2011～2015年にかけてダイキン工業株式会社からの支援を受け、市街中心部や特にヒグマの出没の多いルサ - 相泊地区に電気柵を導入しています。

<エゾシカ・ヒグマワーキンググループ>

会議ではエゾシカ・ヒグマ対策実行計画や調査・モニタリングの実施状況、管理計画の進捗状況を報告し議論しました。2018年度のエゾシカ対策では遺産地域内で217頭、隣接地区(※1)では79頭のエゾシカが捕獲され、各調査やモニタリングでは一部の地域でエゾシカの生息密度の低下や植生回復の傾向が確認されました。

知床半島ヒグマ管理計画(5年計画)は今年で3年目となりましたが、ヒグマによる人身事故が

2件発生(2017年、2019年)し、危険事例や農業被害が多く発生していること、またメスヒグマの捕獲数(※2)が2年間(2017～2018年)ですでに36頭に達するなど、多くの課題があることが報告されました。事故を起こさないための知識を普及させたり、農業被害を抑えるための電気柵を設置したりするなどの対策を一層進めていく必要があるとの指摘を受けました。

※1 知床世界自然遺産地域以外の地区で、ウトロ、遠音別、真鯉、春笈古丹などの国有林内でエゾシカの捕獲が実施されました。

※2 知床半島ヒグマ管理計画では、5年間でメスヒグマの人為的死亡数(捕獲、事故)を75頭以下に抑える事を目標の一つにしています。

2019年6月のエゾシカ・ヒグマワーキンググループのトピックス

注目！

より正確なヒグマの生息数推定に向けて



背こすりするヒグマ（オス）



有刺鉄線についたヒグマの毛

知床世界自然遺産地域では、ヒグマ個体群を健全に維持するとともに人間社会との軋轢を軽減することが重要な課題となっています。ヒグマ個体群を健全に維持するためには、ヒグマの生息数に対し、捕獲数が一定以上を超えない事（捕りすぎない事）が求められます。しかし現在、知床半島のヒグマ生息数は解明されておらず、過去と比較して増加しているのか、それとも減少しているのか正確に分かっていません。そのためヒグマ生息数を推定する新たな調査方法の開発が必要となっています。北海道立総合研究機構と北

海道大学、知床財団は本年から3年間かけて、ヒグマの新鮮な糞、背こすり木などから回収した体毛、捕獲個体の遺伝子を分析し、より正確なヒグマの生息数を明らかにする計画です。今回の調査を実施するにあたり、環境省の研究費を活用しています。現在、知床半島の広範囲でヒグマの糞を探すためのルートを設定し、ヒグマの体毛を採取するためのヘアラップと自動撮影カメラを約60箇所を設置し調査を行っています。

注目！

高密度状態のエゾシカの影響を調査



ルシャ地区のエゾシカの群れ



発信機と標識をつけたエゾシカ

知床半島のルシャ地区は現在、エゾシカが最も多く生息している場所であり、昨冬のヘリコプターからのカウント調査では181頭が確認されました。ルシャ地区はヒグマが数多く生息する場所であり、ヒグマはシカの新生子や衰弱した個体を捕食していると考えられます。また高密度状態のシカは植生に影響を与え、ヒグマの利用できる植物を減少させるなど互いに影響を与えていると考えられます。しかしどの程度、ヒグマがエゾシカの個体群に影響を与えているか詳しく分かっていません。遺産地域の一部（幌別・岩尾別、知床岬、ルサー相泊）では継続的にエゾシカの密度調整（捕獲）が進められていますが、現在ルシャ地区は人の手を加えていません。今年から3年間かけて、ルシャ地区と他のエリアで複数のエゾシカに発信機を装着・追跡し、生存率や妊娠率などを調べ、密度調整をしない地域でなぜ高密度状態が維持されるのか、という点を明らかにする予定です。これらのデータは今後の知床半島エゾシカ管理計画の改訂に活用されます。

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ
知床データセンター

<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所

〒085-8639

北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4階

TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575



SNSでヒグマ情報発信しています

2018年10月にホームページ「知床のひぐま」を開設しましたが、メディアの多様化に合わせて各種 SNS による情報発信も実施しています。写真や動画によるヒグマの生態や注意点を紹介しています。



@Bear Safety Shiretoko



@bear_shiretoko



@bear_safety_shiretoko

知床のヒグマ HP <https://brownbear.shiretoko.or.jp>

〈開設運営：公益財団法人 知床財団〉